

森吉山ダム管理支所の仕事紹介 ～水位・水質観測所点検～



△雪の中の観測所へ



△入り口の除雪



△観測所内 機器点検

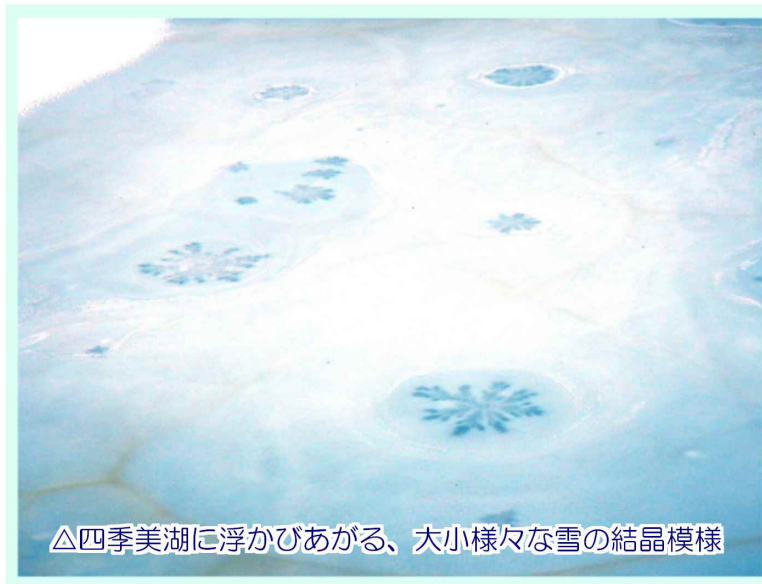
森吉山ダム管理支所では、小又川流域の水質や河川の水位を把握するため、観測所を3カ所に設けており、24時間観測するとともに週に1度の点検を実施しています。

特に水位の情報は、洪水の予測や水防団の出動、住民の避難等を判断する上で大変重要な情報となります。水質・水位観測所の点検は、その基礎となるデータを確実に得るために重要なものです。

観測所を毎週点検することで、観測機器の設置状況や稼働状況を確認し、観測数値に誤差はないか、機械による自動計測と、目視による比較の他、pHや濁度、水温に急激な変化はないか等、様々な面から確認しています。



△1月27日の計測結果 pH7.2、水温2.5℃、濁度0.0ppm（異常なし）

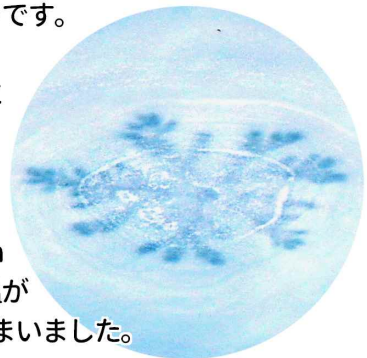


△四季美湖に浮かびあがる、大小様々な雪の結晶模様

自然のアート【氷紋】現る

氷紋とは、氷結した湖や池の表面に見られる、放射状や同心円状などの模様のことです。氷と表面に積もっている雪や噴出した水が関与して生じるといわれていますが、詳しいメカニズムは分かっていないそうです。

森吉山ダムでは、平成24年に観測されて以来、5年ぶり2度目の観測となりました。大小様々な雪の結晶模様が湖面に浮かび、大きなものは直径10mほどになっていましたが、気温が高くわずか1日で姿を消してしまいました。



春の融雪による出水に備えています

森吉山ダム管理支所では、雪解けにより出水が多くなる時期に備えて、ダムに貯留できる容量を確保するため、貯水水位を低下させています。過去の気象・水文情報を活用し、治水機能を向上させる取り組みのひとつです。

今後さらに水位を低下させ、3月中旬までには平常時最高貯水位よりも約1.1m低くなる見込みです。



△湖底の山も姿を現しています

